

公民館月報

K O M I N K A N G E P P O



特集

第62回新潟県公民館大会事例発表

新潟市・棚橋 祐介

4.5

- 2 トピックス 関プロ新潟大会実行委員会開催
- 3 視点 「必要課題」を視点に 新潟市・梶 瑤子
- 3 ひろば 「忘れられない夏」 阿賀野市・鈴木康寛
- 6 実践記録シリーズ 「坂井輪地区公民館の青少年の居場所「じのび」」 新潟市・近藤 文子
- 7 サークル交流 「踊る大家族」(柏崎市) / 「楽しく役立つサークル活動を」(出雲崎町)
- 7 素顔拝見 大塚 美光さん(上越市) / 高山 桃子さん(新潟市)
- 8 お元気ですか 妙高市・井澤 秀峰さん
- 8 惠贈資料紹介



魚沼市堀之内公民館プラネタリウム

表紙解説

季節ごとの天体とギリシャ神話の星座物語を上映しています。みなさんも満天の星空を散歩してみませんか。

関ブロ新潟大会実行委員会開催

実行委員会開催

本県において平成25年度に開催予定の第54回関東甲信越静公民館研究大会（関ブロ）の第2回実行委員会が9月27日（火）に南魚沼市中央公民館で開催されました。

第1回の委員会は5月に実行委員全員が参加して開催されましたが、今回は委員の代表として県公連理事9名、開催地委員と事務局が参加して行われました。

会議では次のことが協議されました。

- (1) 大会開催概要の説明と検討
 - (2) 大会テーマ、分科会テーマの検討
 - (3) 講演講師の検討
- 2時間の会議後、会場視察を行いました。

〈大会開催概要〉

ア 開催期日

平成25年8月29日（木）

イ 会場

全体会場 南魚沼市民会館
分科会場 南魚沼市・湯沢町

*南魚沼市、湯沢町とも公共施設を分科会場に予定



会館正面入り口



南魚沼市民会館

ウ 参加予定人数

約1000人

県内500人
県外500人

エ 大会テーマ

「社会の変容と公民館活動の創造」

原案です。今後意見交換し、県当局の指

導を得ながら決めます。

オ 分科会テーマ

- ① 災害と公民館
 - ② 家庭教育支援と公民館
 - ③ 学校と公民館
 - ④ まちづくりと公民館
 - ⑤ 若者が集まる公民館
 - ⑥ 高齢者学習と公民館
 - ⑦ 職員の専門性と公民館
 - ⑧ 事業の企画、評価と公民館
 - ⑨ 行政改革と公民館
 - ⑩ 人権学習と公民館
 - ⑪ 健康づくりと公民館
 - ⑫ ボランティアと公民館
 - ⑬ 管理運営と公民館
 - ⑭ 公民館運営審議会と公民館
- * 14分科会のうち4分科会を新潟県で、10分科会を他県で担当する予定。

〈1日目〉

12:30 開会

式典、表彰
アトラクション

カ 委託旅行業者

南魚沼市「共立観光」

キ 県大会

当年度の県大会を兼ねて開催します。

ク

運営組織
○運営委員会（予定）
県教育長・県当局

地元教育長
県公連理事
県公連事務局

○実行委員会各部
総務部

部長 阿部正夫
（南魚沼市中央公民館長）

広報部
部長 長岡市

全体会部
部長 南魚沼市

分科会部
部長 湯沢町

輸送・会場部
部長 湯沢町

各部の人数や所属者等は第3回の実行委員会で決めます。

ケ 記念講演講師（予定）
高野孝子氏
塩沢町在住

冒険家、特定非営利活動法人「エコプラ

ス」代表理事
*講演題や内容については只今交渉中です。

コ 日程の概要

14:00 記念講演

15:50 全体会、大会引き継ぎ、閉会式

16:00 分科会打合せ
ホテルに移動

17:00 分科会開始

19:00 分科会終了
閉会

20:00 分科会終了

その他
宿泊地が分散するため全体のレセプション（情報交換会）は実施しない。各ホテル毎で懇親会を行う。但し本部ホテルで役員のレセプションは実施する。

実行委員会今後の活動予定

* (1) 第3回実行委員会

（代表実行委員参集）
平成23年11月24日（木）
13:30

新潟市中央公民館
405講座室

○各部計画概要検討

○大会、分科会テーマ決定

○関ブロ茨城大会報告

（全実行委員参集）
平成24年2月22日（水）
13:30

○新潟市中央公民館

○開催要項決定

○分科会担当決定

視点

「必要課題」を視点到

元新潟市公民館職員 梶 瑤子



新潟大学で4年ぶりに開催された「社会教育主事講習」のゲストティーチャーとして話す機会がありました。社会教育に意欲を持つ現役教師の熱いまなざしを受け、私も公民館職員時代を思い出しながら現代的課題への取り組みや学校との連携等経験を元にお話をさせていただきました。公民館職員として私が一番大切にしてきたこと、それは学習活動を推進する上で「必要課題」の視点を大事にすることでした。学習者の要求課題も大事ですがこれだけやっていると社会教育が廃れるのではとの危機感を持っていたのです。即ち、〇〇がしたいと

いう要求課題だけを取り上げるのではなく、その中でも〇〇だけは学んで欲しいという必要課題をプログラム化する視点です。公民館は地域の多様な人が集まり、様々な活動が自由にかつ活発に展開される、育ちあう関係が生まれるところなのです。まさにそこに関わる職員がいるからこそ社会教育が推進されます。今回の受講を機に現役教師の方、学校教育の中には是非とも社会教育のノウハウを生かして欲しいと願っています。又、現役公民館職員の方、「公民館には、あなたがいるから素晴らしい！」と言われることを期待しています。

H O T N E W S 掲 示 板

青少年健全育成と学社民の連携事業の紹介

語り合しましょう

「地域と共に歩む学校づくりへの参画

～私は何ができるのか～」

今の地域と学校の現状をそれぞれの立場の方から情報提供をしていただき、青少年の健全育成のために私たちになにができるのかを語り合う会です。

日 時 平成23年11月16日 (水) 午後
会 場 新潟県立生涯学習推進センター
新潟市中央区女池南3-1-2
025-284-6110

情報提供 ○新潟市地域と学校ふれあい推進課長
○新潟市立青山小学校長
○地域教育コーディネーター

参 加 定員100名(無料、どなたでも)
申し込み・問い合わせは電話、FAX、メールで

(社)新潟県社会教育協会
新潟市中央区川端町2-9 林業会館3F
TEL・FAX 025-228-2419
e-mail: syakyo56@feel.ocn.ne.jp
申し込み締め切り 11月8日(火)

ひろば

「忘れられない夏」

阿賀野市社会教育委員長 鈴木 康寛

去年の夏は、殊更に暑く、お米の不良などもあり、その猛暑が印象に残る年でした。今年こそは良くなりませうようにと願っていた矢先に、東日本大震災が起きました。

現地の人から、激震と大津波に加え、原子力発電所に於ける事故の発生は、たった数日で市民の生活を変貌させ、家族を分断させたと伺いました。

今年の夏は、福島県の海岸部、いわき市久之浜町へ民家の瓦礫撤去・家財道具の処分のボランティアに行きました。過去に「七・一三水害」「中越地震」「中越沖地震」の災害復旧のボランティアの経験がありましたが、あの時は、皆で頑張れば元通りになる。以前と同じように暮らせる。という希望が感じられました

放射能汚染の問題は、私達の身近にも、日常的に放射線量が測定され、田舎に暮らし、幼い子を持つ私には他人事ではありませんが、この夏は暗澹たる思いで過した夏でした。

が、この度は、この地域は、その光すら届いていないと痛感しました。



大会 事例発表

また昨年度から、市内各地区公民館とも連携し、既存の公民館事業とセットで実施したり、地域の特性をいかしたコーナーを新たにプラスしたりと、少しずつその地域ごとの特色があらわれ始めています。

参加者からは、「普段見ることのできない子どもの様子を見ることができ、成長を感じることが出来た。」「味噌汁の味が薄いと思ったが、我が家が濃いのだと気がついた。」また、「年代の違う人と一緒に作業をすることで、楽しく世代間交流することができ、大変有意義な時間だった。」など、多くの地域から継続して実施したいとの声をいただいています。

(※平成19年度～継続実施中。昨年度は、市内各区から32か所の地域コミュニティ協議会等と協働で実施。子どもからお年寄りまで合計1,102人参加。)

(3) モデル事業から1つご紹介

●体験！地域の教育力「お寺でゴ～ン！」

早寝早起き朝ごはん推進モデル校の1つ入舟小学校とその地域の方々との協働で、地域のお寺や銭湯を舞台に、子どもたちに早寝早起き朝ごはんの全ての要素を体験する活動を“地域の教育力”を最大限に活用することで実現させたのが「お寺でゴ～ン！」です。



平成22年度は、10月8日(金)～9日(土)にかけて「お寺でゴ～ン！6年生修行編」と題して、入舟小学校6年生26人が、地域のスタッフとともに体験活動をしました。

8日午後にお寺に集合し、歩いて近くの銭湯へ。地域の大人や、お風呂に来たおじいちゃんから入浴の作法を教わりながら(叱られながら?)ハダカの付き合いを体験。その後学校へ移動し、夕食のカレーを班ごとに分かれて子どもたち自ら作り、夜はお寺で坐禅体験をしました。本堂に布団を敷いて就寝し1日目は終了です。

2日目も朝から坐禅と食事の配膳。住職さんへ感謝のあいさつをし、その後は、入舟小地域教育コーディネーターの小島さんが企画した「白山神社クイズラリー」、午後は県内の神主さんたちが主催した「下町神社めぐり」にも参加して、子どももスタッフもヘトヘトになりましたが、規則正しい生活と、集団生活の中での自主性や社会性等

多くを学ぶ貴重な機会になりました。

(※平成20年度～継続実施中。昨年度は、8月にも「学校でもゴ～ン！」と題し、地域が主体となって学校を活動の拠点とした事業も実施。)

3 これからの取り組みについて

平成19年度から平成21年度までの3年間、多くのモデル事業を実施してきましたが、この「お寺でゴ～ン！」については、地域が



主体となって、地域にある力を最大限に発揮し、公民館が一緒になって取り組むことが出来た良い事例と言えます。保護者や地域の方々から「地域は子どもたちを育てる役割を担っていることを実感した」という感想をいただきました。また子どもたちを対象とした活動をとおして、大人自身も自分たちの地域を見直し、「地域には家庭とは違った教育力がある」ことを実感できたようです。

そこで、全市的にも拡大実施すべく、同じような環境(地域のお寺、銭湯など)があるか調べたところ、中央区内にはそれらの要素が揃っていましたので、今年度は、中央区内の各地区公民館(中央公民館、関屋地区公民館、鳥屋野地区公民館、東地区公民館)4館において、各館がそれぞれの地域を舞台に「お寺でゴ～ン！」を実施します。

平成22年9月4日、私たちは、新潟市公民館改革宣言をいたしました。

「新潟市の公民館は、地域の人たちが主体となって、地域の持つ力を最大限に発揮できるよう、一緒に考え、学びあい、学びの成果を生かして、地域の絆づくりを支援します。私たちは、地域に出かけ、一緒に取り組み、地域を元気にします。」

私たちは、「つどう、まなぶ、つなぐ」という公民館の三大使命を持って地域に出かけ、その地域の人たちと一緒に、次の世代の子どもたちのために、精一杯頑張ります。



特集

第62回新潟県公民館



新潟市教育委員会
生涯学習センター・中央公民館
副主査 棚橋 祐介

1 はじめに

平成23年7月15日(金)、佐渡市両津文化会館において、県内27市町村と関係団体あわせて200人以上が集まり、「地域コミュニティの再生と社会教育の役割～社会・地域を切り拓く公民館をめざして～」をテーマに、基調講演と事例発表が行われました。

私棚橋は、新潟地区の新潟市中央公民館担当者として事例発表をさせていただきました。以下、その概要を少しご報告させていただきます。

2 早寝早起き朝ごはん推進事業の活動報告について

平成18年4月、文部科学省は、子どもの望ましい基本的な生活習慣を育成し、生活リズムを向上させ、読書や外遊び、スポーツなど様々な活動にいきいきと取り組んでもらうとともに、地域全体での家庭の教育力を支える社会的機運の醸成を図るための「早寝早起き朝ごはん」国民運動の推進支援を始めました。

そこで、新潟市では、子どもたちの望ましい基本的な生活習慣を育成し生活リズムを向上させるとともに、地域社会全体で家庭の教育力を支える機運を高めるため、平成19年度より「早寝早起き朝ごはん」運動に取り組んできました。



(1) 概要

早寝早起き朝ごはん推進事業	【全体事業】 市民を対象に、市民参画による早寝早起き朝ごはん推進事業を展開	<ul style="list-style-type: none"> ・おはよう朝ごはん・うまかコンテスト (平成19年度) ・早寝早起き朝ごはんうまかフォーラム (平成19年度) ・おはよう朝ごはん料理講習会 (平成19年度～継続中) ・早寝早起き朝ごはんレシピ集の作成・配布・活用 (平成20年度～継続中) ・早寝だ！早起きだ！みんなで挑戦5★7★5 (GO) (平成20年度) ・早寝早起き朝ごはんフォーラム (平成21年度) ・早寝早起き朝ごはん推進委員会 (平成19年度～21年度)
	【モデル事業】 モデル校を指定し、該当地区のコミュニティ協議会等と協働で各種事業を実施	<ul style="list-style-type: none"> ・早寝早起き朝ごはんミニフォーラム (平成19～21年度) ・子育て学習出前講座 (地域版) (平成19～21年度) <p>→それぞれのモデル校、モデル校区において年間2事業ずつを3年間、計18事業を実施 (一部継続中)</p>
	【広報事業】 啓発運動の周知、広報	<ul style="list-style-type: none"> ・啓発用チラシの作成・配布 (平成19年度) ・啓発用シールの作成・配布 (平成20年度) ・共育通信(教育委員会発行)での早寝早起き朝ごはん5★7★5の紹介 ・ホームページ等による啓発運動の周知など

(2) 全体事業から1つご紹介

● “朝ごはん” から始まる地域の輪 「おはよう朝ごはん料理講習会」

近年の核家族化や価値観の多様化などにより、今の子どもたちを取り巻く環境は、一昔前とは異なってきています。“よく体を動かし、よく食べ、よく眠る”という



成長期の子どもにとって当たり前で必要不可欠な基本的な生活習慣の乱れが指摘されていますが、これらを個々の家庭や子ど

もだけの問題として捉えることは非常に困難といえます。

そこで、市内各区の小中学校や公民館等を会場にして、基本的な生活習慣の形成に欠かせない“朝ごはん”に焦点をあて、地域のコミュニティ協議会と協働で取り組んだのが「おはよう朝ごはん料理講習会」です。

この講習会は、平成19年度に実施した「おはよう朝ごはん・うまかコンテスト」入賞作品14点をまとめた“レシピ集”を基本題材とした調理実習と、「なぜ朝ごはんが大事なのか？子どもたちの生活リズムにどう影響するのか？」等を知識として知っていただくため、講師の食生活改善推進委員によるミニ講話も合わせて実施しています。

実践記録

163

シリーズ

坂井輪地区公民館の青少年の居場所「じのび」

新潟市坂井輪地区公民館 非常勤属託 近藤 文子

はじめに

坂井輪地区公民館の青少年の居場所が毎週土曜日に開催されるようになって10年、2006年11月からは、公民館事務室の移転に伴って1階から4階へ移動、事務室の向かいにある定員24名のテーブルと椅子のあるスペースが「じのび」です。

家でも学校でもない「自分だけの空間を持つ」ということや、「青少年を地域で育む」という観点でこの事業に取り組んできました。その居場所で出会う人と人との関係から、自主的・自発的な行動につながり、子どもの自信となっていきます。そしてそこには場所があるだけでなく「人」の存在が欠かせません。わたしたちスタッフは、どの子どもも同じようにかかわり向き合うことを大切にしてきました。

現在の活動

「やること・アイデア・自分もち」がこの「じのび」のキャッチフレーズ。子どもたちの「やりたい」を支援する中から、ドラムの購入、中高生の音楽室利用が始まり、2005年子ども企画のライブを開催、2006年からは、坂井輪地域のお祭り「ふれあい坂井輪まつり」に居場所の子どもたちとバルーンアートのお店を出店し、特設ステージでは中高生のバンドが演奏しています。今年からはただバルーンを作って売るだけでなく、バルーンの作り方を子どもたちが小学生や幼児に教えることで、参加した子どもたちも自信をつけ、より地域に密着した活動になりました。

今年度からは土曜日だけでなく平日じのびを午後3時から5時まで開催しています。2008年に子どもたちにアンケートをとった結果では、「坂井輪地区出身の高校生、友だちに誘われて夏休み学習室に来



てじのびの存在を知り、勉強したり音楽室を利用する」のが平均的じのび利用者。利用してよかったことには「友だちができたこと、異年齢の人と知り合えた、公民館の人と交流ができた」などの声が聞かれました。

ユーススタッフの誕生

じのびのスタッフには「ユーススタッフ」と「おとなスタッフ」の2種類あります。ユーススタッフはじのびに来ていた子どもたちが「支えられる」側から、高校を卒業してからもここでの体験を生かして「支える」側にまわってくれた人たちです。利用者からユーススタッフに、そして地域のリーダーへというシステム作りができたらと思っています。

これからの課題

少子化や子どもの生活パターンの変化の影響で、フリースペースやバンドの利用が減少傾向にあります。今の子どもたちのニーズにあわせた事業の見直しが必要な時期となりました。今年度は、東日本大震災の影響で延期していた10周年記念のイベントを開催したいと思います。



踊る大家族

まつりくらぶが
祭や倶楽部

柏崎の街に新しい風をおこしたい！と結成し13年目を迎える、よさこいチームです。メンバーは約50名、祭りの運営にも携りながら和気藹々と活動しています。

週一回の練習の成果を、色々な祭りで披露するのが喜びですが、皆で踊る一体感と達成感が醍醐味！そんな、よさこいにハマってしまいました。

皆一生懸命ですが、ダンスの競争でなく、祭りを楽しみたいとのコンセプトから衣装にも工夫を凝らすようにして



います。今年はカカシが手を広げて飛び出す仕掛けを施しました。

さてさて：来年は…と早くも想いを馳せ、これからも皆で仲良く舞って参りたいと願っています。

柏崎市 よさこい
池田 純子 記



楽しく役立つサークル活動を

出雲崎スポーツダンスサークル

私達のスポーツダンスサークルは、17年目を迎える。毎週土曜日の午後、町中央公民館で、太刀川先生を招いて、技術の向上、心身の健康保持・人生の楽しみや生きがいと会員相互の交流をめあてに、

出雲崎町
スポーツダンスサークル
代表 曾根 良子 記



楽しくダンスをやっている。運動量が多いので、中間に休憩を入れ、水分補給やおしゃべりをして楽しい一時をもつ。定例活動のほかに、五月には郊外パーティーを実施している。今年は湯沢スポーリアだった。

また十二月末には、クリスマスパーティーを町内のセンターで、他のサークルを招いて実施している。

ダンスを多くの方々にも楽しんでいただこうと、毎年グループホームやケアハウスへボランティア訪問をしている。大変喜んで下さって、「またきつと来てね。」と頼まれる。ダンス活動の楽しさを私達ばかりでなく、多くの方々にも共有していきたい。

今年の4月から新潟市西地区公民館に「本当にいい人」高山桃子さんがやって来ました。

これまで「いい人そう」で通っていた私の本性もあばかれ今では…

悔しいので、高山さんの良いところは紹介しないでおこうと思います。

むしろ悪いところを紹介しようかと。

高山さんはピッカピカの11年目、教育委員会配属は初めて、教員免許あり、2児の母、

新潟市西地区公民館

副主査 高山 桃子さん



お笑芸人の〈もう中学生〉似の旦那あり、豪邸持ち、何事も一生懸命、市民への対応親切丁寧、いつも笑顔。

う～ん！悪いところが見当たらない！！

やっぱり「良い人」なんです。

そんな高山桃子さんをよろしくお願いします。

(新潟市西地区公民館 阿部 真 記)

上越市立公民館、大塚美光館長をご紹介します。今年度4月に公民館に来られた大塚館長、たくさんの施設の管理や次々に開始される講座や行事についての業務などなど、息つく暇もない毎日だと思います。そのようなお忙しい中、各地域の様々な特徴を把握し、生かすべく、時間をみつけては多くの職員や地域の皆さんの話を聞いたり現地を見に行かれたりと、エネルギーに各地区をまわられています。

上越市立公民館

館長 大塚 美光さん



いつもにこやかで、事務所内を和ませてくださる一方、上越市において公民館の役割を果たすために何をしたらよいか…日々熱心に考えられている、頼もしい館長です。

大塚館長の下、私たち職員もがんばっていきたいと思います。これからもよろしくお願ひします！

(上越市直江津地区公民館 主任 市川 睦美 記)

素顔拝見

お元気ですか

井澤 秀峰 (妙高市田町)



私は、退職教職員の俳句会「ぎんなん句会」に所属している。毎年2・3校より要請を受けて「出前俳句教室」にうかがっている。すでに15教室を超えた。前年から引き続いての希望がかなりある。今年もK中学校とY小学校にうかがった。両校は校長先生も担当教諭も旺盛な熱意と児童生徒への愛情溢れる学校だ。

Y小学校は小規模校で5・6年生の複式学級だが、学年差など感じさせない協力・助け合い学習が身についていた。

子どもたちには「自然の子」であることを実感し、俳句と友だちになってほしいと願う。俳句という表現形式を通して「作ることの面白さ」そして自然・友だち・家族・社会を「見つめる目」を育て、豊かな心を養ってほしいと願う。

恵贈資料紹介

「公民館における災害対策」ハンドブック ～避難所におけるよりよい運営のために～

〔社〕全国公民館連合会編 1,050円



公民館は災害において、避難所として大きな役割を果たしてきまされた。しかし、その対応は突然であり想定外のことも少なくありません。本書は実際に被害に遭われた方の公民館での体験や学識経験者や関係各省にも協力していただき作成してあります。事例や公的施設としての記録書式等が豊富に掲載されていて大変良い実務書になっています。

「講座づくりのノウハウ」

〔社〕全国公民館連合会編 2,100円



本書は、公民館における講座づくりの基本的な事項とともに紹介しています。講座開設までのノウハウから講座の運営上の留意点等を丁寧に説明しています。特に、公民館勤務経験の浅い人には大変参考になる一冊です。右記資料の問い合わせ

〔社〕全国公民館連合会

〒105-0001 東京都千代田区虎ノ門1-16-8

飯島ビル3F

電話 03-35501-9666

FAX 03-35501-3481

購入方法の詳細は県公連事務局まで

025-224-6073 (田原)

information

県民公開講座のお知らせ

「ジェネリック医薬品って、なあに？」

薬と上手につきあうための講演会です。

日時：11月13日（日）午後3時から午後5時

会場：万代シルバーホテル5F「万代の間」

内容：「健康保険とジェネリック医薬品の話」などの講演
参加費は無料。先着300名です。下記に申し込んでください。

〔社〕新潟県薬剤師会 〒950-0941 新潟市中央区女池1-3-16

電話 025-281-7730

FAX 025-281-7735

e-mail moushikomi@niyaku.or.jp

100年先の日本のために

豊かな水を育み国土を守る森林は、「緑の社会資本」であり、地球温暖化の防止にも大きな役割を果たしています。その恩恵を後世の人々が享受できるよう、長期的視点に立った森林づくりを推進しています。

新潟県市町村林政振興協議会

会長(村上市長) 大滝 平正

新潟市中央区新光町4-1 新潟県自治会館内

TEL 025(285)0041 FAX 025(285)1609

あ と が き

事

事務局長のつぶやき

先月号でお知らせしました「緊急 事務所を探しています」のその後ですが、依然として見つかりません。ある情報をいただいた貴し事務所の家賃がばかかかるとまらず、現在一緒に事務所にいる「社

会教育協会」の事務局長さんと仕事の合間に探し回っています。その時の合い言葉は「貧乏所帯は辛いね。ハァー(深いためいき)です。どこかないでしょうか。」

(田原)